



## 人材育成奨学計画（JDS）16期生とのバイサロフ内閣副議長表敬

8月18日、前田大使は、対キルギス無償資金協力「人材育成奨学計画（JDS）」16期生20名とともに、バイサロフ内閣副議長を表敬訪問しました。

JDSは、若手行政官を対象として、日本での修士・博士号取得を支援する奨学金プログラムであり、世界16カ国を対象に実施しています。キルギスでは2007年に最初の留学生を送り出し、これまでに200名以上の卒業生を輩出しました。卒業生の多くは政府の要職で、日々キルギスの持続可能な社会・経済発展に貢献しています。本年度は修士18名、博士2名が日本に出発します。

前田大使は、昨年11月に英グラスゴーで開催された、第26回気候変動枠組条約締約国会議（COP-26）での岸田総理とジャパロフ大統領の会談において、ジャパロフ大統領自らがJDSへの謝意を表明したエピソードを紹介し、キルギス政府のますますのJDSへの支援を要請しました。

また、前田大使は、JDSの目的とは、単に知日派の官僚を育成することではなく、日本で学んだ知識や経験をキルギスで実際の政策に反映することであると述べ、日本側とキルギス国家公務員・地方自治体庁間で合意した、JDSの改善策を紹介しました。

